

急患センターが新築移転しました

平成 24 年 1 月 11 日に四国中央市急患センターが新築移転しました。

急患センターは、昭和 50 年より三島駅の南に有る三島地区旧自治会館内で診療を開始し、平成 19 年 8 月よりは、現在の妻鳥小学校西側の旧宇摩医師会館に移転し同会館を利用して診療をしていました。しかし旧宇摩医師会館は昭和 46 年の建築と古く、また、診療所としては設計されてないため使い勝手が悪く、今年四国中央市により新築されました。場所は今までと同じ妻鳥小学校西側です。

新急患センターはバリアフリーになっています。また、一昨年のような新型インフルエンザや強い感染力がある麻疹（はしか）などが発生し^と時の為に、感染症待合室と感染症診察室も作られています。ここは普段は水痘（みずぼうそう）やその他の発疹症の隔離室としても使われます。今回、新築に併せて酸素飽和度計測器・充電式耳鏡・血糖計測器・自動解析付心電図計測器などの医療機器も新たに導入されました。また、医療事務員さんも 1 人増員となり、受付時間や薬を待つ時間も大幅に短縮されると思います。

診療時間の変更はありません。

PM7時30分～10時30分です。

現在22名の有志の先生が出務され診療されています。月に2回出務されている先生もおられます。

急患センターは、あくまで夜間の内科および小児科の急患を対象にしていますから、昼間に発病された方は、昼間に最寄りの診療所を受診してください。

急患センターを受診され投薬された方も、翌日にはかかりつけ医を受診してください。

急患センター担当部会長 鈴木 俊二